



みのちグループホームセンターは平成8年開設の伊豆家の家を始めとし水内荘入所利用者の地域移行を推進する形で豊野町（現、長野市豊野地区）を中心にグループホームを整備。拡充していく中で水内荘から平成18年に事業所として独立しました。以前14ホーム運営していた時期もありましたが、物件の老朽化、利用者の介護保険施設への移行が進んだことから、ホームの統廃合を行い、現在8ホームの運営をしています。

最近の利用者様の状況として、地域移行の際に50代・60代だった方が、年齢を重ねられて現在70代・80代となられた方が多くいらっしゃいます。生活のご様子も変化しており、ホームでの生活支援には、若い方も含めて、どうやって健康に楽しくホームでの生活を送っていただけるかが、日々の課題となっています。今後についても地域に根差した暮らしの支援を提供していきますので、皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2024年11月

みのちグループホームセンター 所長 竹内 紳一郎